



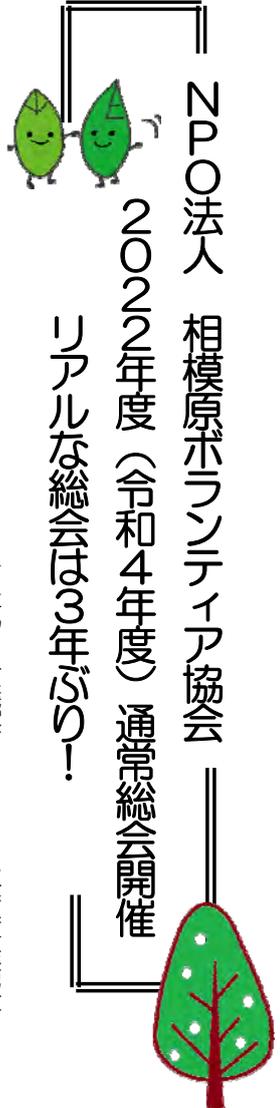
ぼらんていあ通信

6月号
通巻 No.487

発行 / NPO法人 相模原ボランティア協会 2022年6月21日

連絡所 〒252-0236 相模原市中央区富士見 6-1-20 あじさい会館・中央ボランティアセンター内

TEL/FAX: 042-759-7982 Eメール: sagamiva@feel.ocn.ne.jp HPアドレス: http://sagamivainfo/



2022年度(令和4年度)通常総会開催 リアルな総会は3年ぶり!

去る5月22日(日) 14時~16時にかけてあじさい会館の階第一展示室にて久しぶりに通常総会が開催された。総会司会は西本さん。会長の高橋さんは「書事な口曜日」もかかわらず出席くださったのめりがすごいです。去年の月に協会は創立40周年を迎えましたので本総会は40回目の総会となります。40年続けてこられたことについて、相模原市のSDGsパートナー登録証盾交付式の折、本村市長から40年続けるということは素晴らしいことだとお褒めの言葉をいただきました。と挨拶された。

資格審査は事務局の堀さんが「正会員102名、出席者20名、議決権行使者33名、委任状21名。正会員の過半数の51名を超えているので総会は成立します」と報告。続いて西本さんから議長に下里作衛さんから「木地本和子さんが推薦され承認。議事録署名人に小川紀江さんと小川進さんが承認されて審議に入

った。

(1) 第一号議案 2021年度事業報告

高橋会長から2021年度事業報告の概要説明があった。

「10月のほかほかられあいフェスタは規模を縮小したが、11月の障害者週間キャンペーンは、ほぼ例年通りのプログラムで開催した。「ハンディキャップ運行事業」「傾聴活動」「家具転倒防止のための援助活動」「若者サポート活動」「高齢者住まい探し相談会」「切手グループ」などは、「コロナ禍にも拘わらず活動を続けた。」「ぼらんていあ通信」「協会ホームページ」などの情報発信に係わる活動もフェイスブックを開設するなど情報発信に努めている。

2021年度の新しい取り組みとして、相模原市のSDGsパートナーに参加。また「新しいボランティアのかたち」というテーマで春講座を3月19日に開催。昨年6月には、ボランティア協会40周年を迎え、記念誌「40年のあゆみ」をDVD制作実行委員会が発行。さらに1月に「ボラ協を考える」というテーマで今後の協会のあり方を模索。今後引き続き検討していく。「コロナ禍の大変な年だったが無事に乗り切れたのは会員の皆様の努力の結果であり、本当に苦勞様と申し上げます」と結ばれた。

(2) 第二号議案 2021年度会計報告

副会長の加藤さんから丁寧な説明があり、監事の杉本榮治さんから監査報告がなされ、第一号議案、第二号議案とも拍手による満場一致で承認された。

(3) 第三号議案 役員選任

大貫理事の退職に伴い市社協さんより推薦された阿部真由美さんが盛大な拍手で理事に承認された。阿部さんは「一生懸命努めてきたのでありがとうございます」と挨拶された。

(4) 第四号議案 2022年度事業計画(案)

高橋会長より「ボランティア不足や高齢化を乗り切るために、ボランティアの拡大を最重要とし、養成講座に力を注ぎたい。また、フェイスブックや協会ホームページを有効活用し情報発信を積極的に行う。財源確保に力を入れ、寄付・募金の促進をはかり、イベントでのバザー、協賛団体の獲得などに努める」と抱負が述べられた。加藤副会長より事業内容の詳細な説明があった。

第五号議案の2022年度予算(案)は加藤副会長から説明があり、第四号、第五号議案一括採決に入り、異議なしの拍手で満場一致で承認された。

恒藤副会長が「お忙しい中にご出席くださいありがとうございます」と閉会の辞を述べて総会の幕が閉じた。

会場の窓からは遠く大山の山並みがくっきりと見えて爽やかな5月の新緑をのせた風が心地よかった。(山崎)



40周年記念誌「40年のあゆみ」をご覧いただいた塩田会員から感想をお寄せいただきました。

ボランティア協会40年よせつ

塩田 信子



「40年のあゆみ」読ませていただきました。協会40周年おめでとうございます。40年前に微力ながら設立に参加できたことを嬉しく思います。

昭和54年に「相模原市民の会」が発足、24時間サービス福祉車両の寄贈を受け、相模原社会福祉協議会（以下市社協）の職員さんや他のボランティアさんと共に萩本欽一さんから車のキーを受け取りに行きました。ハンディキャブ1号車の使用が始まりましたが、車イスを固定するのに車中にポールを立て苦労したことを思い出します。

協会設立準備委員会を経てボランティア協会が新設されたあじさい会館4階に市社協と協働という形で机を並べて事務局が開設されました。準備委員会からずっと活躍の西本さん、市社協の職員だった小野さんに40年のあゆみの座談会の誌上にてお会いできました。この後沢山の方との出会いがあり、今もつながっている方もあります。

運営委員で活躍された方、財源確保のためにくれあいコンサート開催に頑張った方など、ぜひ40年のあゆみ「を見てもらいたい」とお渡ししました。あの頃から40年経過して、ボランティアをする

側から、してもらって側になったと思いつつも、今は地域で自分も楽しみながら参加しています。

高齢化でボランティア不足が話題になっていきます。子供の世代から「おたがいさま」の気持ちが浸透して広がっていくのかなかと思ったりしています。

「40年のあゆみ」を拝見しながら、設立当時の事を思い出して書きました。作成に携わった方々に感謝します。そしてぼらんていあ通信を作成、送ってくださったすべての皆様にお礼申し上げます。「ありがとうございます」



塩田さんが活動なさっている地域のボランティアグループ「かふえみぞ」でコーヒーブレイクタイムを！！

子どもから高齢者まで、年代の壁を超えて幅広く交流できる地域の拠点「ぶらっと上溝」で美味しいコーヒーを提供している「かふえみぞ」さん。

グループのほか、お一人で訪れる方も多くいらっしゃり、アットホームな雰囲気の中、サイフォンで淹れる本格的なコーヒーで、皆さまをお迎えしています。

*第2・第3・第4・第5火曜日 11:00~15:00 (コロナの感染状況により変更になることもあります)

★コーヒー1杯 100円

*ぶらっと上溝：神奈川県相模原市中央区上溝6丁目2-16 最寄り駅：上溝駅[出口]から徒歩約8分



7月の記念日は？

小倉義男

7月23日、文月ふみの日。1979年から郵政省（現 日本郵政グループ）は毎月23日を「ふみ」の語呂合せで「ふみの日」としていますが、7月の旧称が「文月」であることから、特に7月の23日は「文月ふみの日」としてさまざまなイベントを実施しているそうです。

本当に最近は手紙を書く機会がほとんどなくなりましたね。たまにはインク壺にペンをつけて。



小倉画

クイズに挑戦

豆知識クイズです。

- ① 「伯母」と「叔母」はどちらもおおはだけね、違いは？
- ② 「去年」と「昨年」は同じ意味だけれど、どう使い分けね？
- ③ 世界の消費税。税率が一番高い国は？
- ④ 相撲の力士がつけている「まわし」を洗濯するときは、どう洗うか？

*答えは、4ページに。





会長の久保さん

障害の程度、失聴年齢、生育環境などは会員一人ひとりの異なる、コミュニケーション方法も、手話、筆談、身振りなど様々ですが、生活における問題は共通しています。聞こえない

◆協会の成り立ち
相模原市に住む聴覚障害者の皆さんの福祉の向上と生活の中での差別を解消して幸せな生活が出来るようになるために運動する団体であります。
聴覚障害者は一見すると健常者と変わらないために、生活の困難さなどが理解されにくいのですが、聴覚障害のためのコミュニケーションがよりよく、社会生活・人間関係に支障をきたすことが多く、聞こえる方たちが当たり前のように得ている情報が入らないことで、生命や財産などに関わることもあります。

◆協会の成り立ち
相模原市に住む聴覚障害者の皆さんの福祉の向上と生活の中での差別を解消して幸せな生活が出来るようになるために運動する団体であります。

ボランティヤ活動グループ訪問記
相模原市聴覚障害者協会
聴覚障害者の生活の向上
社会福祉の増進を図ることを目的に
Illustration of a rabbit holding a flag.

◆主な活動は
学習会、講演会、日帰りバス研修旅行、ハイキング等の健康促進に関する活動、交流会、機関紙発行、行政や関係団体との意見交換会
◆会員の皆様の活動の様子は
*相談をお受けいたします
当事者の経験から聴覚障害について色々とアドバイスが出来ます。お気軽にご相談ください。
*様々な活動を行っています
私たちの会の上部団体と共に聴覚障害者の放課後ティーンズや訪問サービスなど協力しています。
手話を学びたい方、聴覚障害者支援に関心のある聞こえない方が質問を伺えます。

*行政との交渉、関係団体との連携についても
共に生きていく社会、住んで良かったと思える街をめざして、行政に要望したり、関係団体と意見交換を行っています。
防災フェアへの出展も、そのひとつです。
皆さんのお知恵・知識を私たちの会に頂けると嬉しく思います。

*交流を深めています
仲間が集まるための交流や研修旅行、学習会や講演会など、様々なイベントがあります。
久保さんには大変な努力をおかけしましたが読者の皆さんに分かって頂けたなら嬉しいです。(植野)

*相模原市聴覚障害者協会
相模原市中央区南橋本1-2-21
FAX 042-633-0086
会長 久保博

このマークって？

手話マーク
[対象] ろう者等、手話を必要としている人
[意味] ろう者等から提示：
「手話で対応をお願いします」
窓口等で掲示：「手話で対応します」
「手話でコミュニケーションできる人がいます」など。

筆談マーク
[対象者] 筆談を必要としている人
(ろう者等、音声言語障害者、知的障害者、外国人なども含みます。)
[意味] 当事者から：「筆談で対応をお願いします」
窓口等で：「筆談で対応します」

どちらも ★イベント等の会場で手話が出来る、筆談対応する案内係がネームプレートで携帯することができます。
★緊急災害時の支援者が身に付けるピブスなどに掲示することができます。

理事公告報告

6月11日(土)開催 理事8000日開催。

1、報告事項

〈広報委員会〉

・ほろ通野会

ほろ通の月号の発行スケジュール、内容について。

・情報部会

傾聴講座のホームページ、フェイスブック、他団体ホームページへのアップについて。

〈HC委員会〉

事故報告、事故の際のフローチャートについて、乗降の際の支援の範囲について。

〈事務局委員会〉

新規利用受付について進捗状況報告。

〈講座委員会〉

傾聴講座の周知、申し込み状況、講座開催日のうち7月23日のプログラムについて。

〈傾聴委員会〉

傾聴活動の市内居宅介護支援事業所ケアマネージャーへの周知について。

2、その他

・ほかほかふれあいフェスタは10月15日(土)に開催
障害者週間キャンペーンは11月26日(土)に開催を決定。

・大野南中学校の生徒が「SDGsを学ぶ」授業の環境で、ボランティア協会のSDGsに対する取り組みを知りたいとお申し付けがある、企画のほか44名を招待予定。

*次回理事会は7月6日(土) 10時からの予定です。



よろしくお願いします

阿部新理事のご挨拶

あへまゆみ



このたび理事となりました市社協の阿部貴田美です。これまでのオフザバーの立場から、今年度は理事としてこの場で身の引き締まる思いです。



オフザバー就任時にも寄稿させていただきましたが、一人ひとりの思いや気持ちを受け止め、大切にないでいこうとがボランティアセンターの使命である日々感じています。

ある日、ボランティアセンターに来所した大学のボランティア部の代表、副代表をしている2人の学生たちから、「コロナ禍で授業はすべてオンライン、対面での仲間づくりができなかった。失っていた学生生活を取り戻すためにも部の活動を盛り上げていきたい。」との相談を受けました。ボランティアセンターは、さまざまなボランティア活動を紹介し、活動フォローも行いながら関わり、4月には新入生が20人入部したこのうれしい報告がありました。

最近、個人、サークル、高校、大学、専門学校、企業等多様なボランティア活動の相談が入り、その数も増えています。

「コロナ禍は、日常生活を大きく変え、「ひだんの暮らし」や「つながりづくり」に大きな影響を与えましたが、「福祉」の大切さが再認識され、ボランティア活動への意識や関心が高まっているのではないかと感じています。

今後ますます活動の輪が広がる中、協会の役割をしっかりと果たし、ボランティア協会の事業に貢献できるよう努めます。

クイズの答え

- ① 自分の父母の姉妹の場合、父母の姉なのか妹なのかで判断します。父または母の姉の場合に「伯母」、妹の場合に「叔母」として漢字を書きます。
- ② 「昨年」は「去年」と同じ響きで改まった表現です。
- ③ ハンガリーで27%だそうです。
- ④ これにはグン担ぎの意味がこめられており、「水に流れる」ということから、洗濯はしないうです。ただ、使用後は泥などをきれいに落として天日干しして汗を乾燥させて洗濯機で洗います。

*相撲に関する雑学をスペースに掲載しています。



ちよつとクイズを

お楽しみください

漢字クイズです。

- ① 欠伸
- ② 胡坐
- ③ 軒

クイズの答え

- ① 欠伸
- ② 胡坐
- ③ 軒

理事のつばさ

加藤 修



理事を務めて二期目となりました加藤です。前回執筆した原稿を読み返しながら作成していますが、前回執筆した当時も新型コロナウイルスの感染拡大している状況を記していました。今回もいまだ終息が見通せない状況に変化はありません。マスク・消毒生活が定着したことでインフルエンザの流行がなくなるほど感染症への対策をとっているにもかかわらず、連日新規感染者の報告が出る新型コロナウイルスの感染力の強さには敵ながらあっぱれというほかありません。

ウィズコロナというコロナへの感染を見越した考え方も広がっていますが、高齢者・基礎疾患を持っている方にとっては引き続き留意しなくてはならないウィルスであると思います。感染対策も大事ですが、自身の体調が万全でなければ感染リスクを高めることになってしまいます。これから暑い夏を迎えますので皆様も体調管理を第一に乗る切って頂きたいと思っております。

前回執筆した際は自分が患っている大動脈弁の弁膜症についてお話ししました。大動脈弁の障害には血液が逆流する閉鎖不全症、弁がしっかりと開かない狭窄症の2種類が主な障害であるとお伝えしました。今回は実際に手術を受けた当手を振り返って手術に至る経過について書かせて頂きました。

心臓の動きを調べると超音波検査が一般的です。所要時間は30分程度で痛み等は全くありません。

この検査で血液の逆流などの数値が一定以上確認できると手術適応となり手術を検討することになります。自分もこの検査で手術適応となり手術に至りました。病院によって違いはありますが、自分が受診した病院では手術の際の出血に備えた自己血の貯血を手術の2週間前から行います。通常の採血より針のサイズが大きく腕の圧迫も相当な力をかけるため、かなり大掛かりな対応だった記憶があります。

弁膜症の手術は弁をプラスチックもしくはウシやブタを使った人工弁に交換する置換術が主流なようです。手術の際は心臓と肺の機能を代替する人工心肺装置を装着したうえで心臓を止めて交換する措置を行います。交換している間は心臓が止まっているため手術の成功はまさに生還したといっても過言ではありません。

手術後は集中治療室で経過を見ることになりませんが、ずっと安静にしているわけではありません。自分の時は手術翌日の午後「リハビリ」を担当する理学療法士が病室に来て補助具を使用して一時間ほど座る時間を設けることができました。ずっと寝た状態を続けるほうが合併症を引き起こすリスクがあるため、体調に問題がなければ体に負担のない範囲で早期に動かすことをすすめられ退院や社会復帰を早める効果があるとのことでした。自分の時は手術後の日でも退院となりました。

この心臓弁膜症も自分が手術を受けた当時に比べる「リハビリ・新聞等」による生活が増えたことで認知度が上がってきたと感じています。

普段とは違い疲れや息苦しさを感じたらからりつけ医に相談するよう心がけてください。



相撲雑学はこちらから～！

力士は車の運転をしてはいけない？

力士は車の運転をすることが全面的に禁止されているそうです。1985年に当時幕内だった力士が人身事故を起こしてしまったことをきっかけに、禁止されることになったそうです。ちなみに、車の運転が禁止されているだけで、免許を取得しに自動車学校へ通うことは許可されていて、若手の頃や引退前に教習所に通う力士は多いそうです。

来月号の相撲の雑学は
行司の掛け声で取り組みが始まるわけではない！
お楽しみに♪

相模原ボランティア協会 7月の予定

日	時間	内容
3(日)	10:00～	HC委員会
5(火)	13:00～	広報委員会・ぼら通部会
9(土)	10:00～	定例理事会
	14:00～	養成講座(傾聴)①
16(土)	10:00～	事務局委員会
	14:00～	養成講座(傾聴)②
19(火)	13:00～	ぼら通7月号印刷
20(水)	13:00～	ぼら通7月号発行
23(土)	14:00～	養成講座(傾聴)③
29(金)	10:00～	傾聴委員会



介護予防しながら、ボランティア活動してみませんか？ ～「さがみはら・ふれあいハートポイント事業」のすすめ～

さがみはら・ふれあいハートポイント事業は、相模原市にお住まいの皆さんが地域貢献や社会参加を通じて、いつまでも健康に過ごしていただくことを目的とした事業(登録制)です。ご登録いただいた方は、指定された高齢者福祉施設等でボランティア活動を行った場合に、活動実績(ポイント)に応じて報償金(上限あり)を受け取ることができます。活動は対象施設等と相談しながら、ご自身のペースで行うことができますので、気軽にご登録ください♪

登録条件 相模原市内にお住いの65歳以上の方

登録窓口 お近くのボランティアセンター窓口で
ご登録下さい。(事前予約不要)

○緑ボランティアセンター 緑区合同庁舎2階
(緑区西橋本5-3-21)

電話：042-775-1761 FAX：042-774-7160

平日：午前9時～午後7時 土曜日・日曜日・祝日：午前9時～午後5時

○中央ボランティアセンター あじさい会館2階(中央区富士見6-1-20)

電話：042-786-6181 FAX：042-786-6182

平日：午前9時～午後7時 土曜日：午前9時～午後5時(日・祝は休み)

○南ボランティアセンター 南保健福祉センター2階(南区相模大野6-22-1)

電話：042-765-7085 FAX：042-748-4419

平日：午前9時～午後7時 土曜日・日曜日・祝日：午前9時～午後5時

※他、市社協地域事務所(城山、津久井、相模湖、藤野)でも受付しています。

詳しくは、お問合せください。

連絡・問い合わせ先

相模原ボランティア協会あじさい連絡所

電話 042(759)7982

相模原市社協 中央ボランティアセンター

電話 042(786)6181



《今月のイラスト

…暑くなってきましたね!》

山口尚美画



6月も、もう終わり。梅雨入りも随分早くてピツクリでした。ゲリラ雨あり、冷え込みあり、今度はバカ暑くなりそうです。高齢の身では心と体の「維持管理」が大変です。とは言え庭先の花々は季節を確かに伝えてくれています。心にゆとりがあったのかな。パチュニアとピンクカラーの競演を撮ることができました。

編集後記

(植)

ご寄付をありがとうございました

皆様のご寄付は当協会の運営に有効かつ大切にに使わせていただきます。

<5月の寄付者>

5名の方からご寄付をいただきました。

<5月の寄付金>

13,800円でした。

